第 11 章　　営　　繕

第１節　営繕業務

1　営繕業務

営繕業務は、知事部局及び教育庁の依頼に基づき実施する県有建築物の新築･増改築と、県が保有する６１５施設、延べ床面積約２，１８６千㎡のうち、４１９施設、延べ床面積約１，６８６千㎡について行う維持修繕等に大別できます。（数値は、いずれも平成１９年度末現在。）

平成１９年度は、事務依頼ベースで延べ１９７件、約７，４５４百万円の工事を取り扱いました。平成２０年度は、組織改編に伴い営繕課では営繕業務のうち新築及び増改築の業務を取り扱うことになります。

これらの工事に関する調査･設計･工事監督等を通じ、営繕課と各地域振興局建設部が連携をとりながら、安全で安心して利用できる県民共有の財産の整備を図っております。

併せて、営繕工事の技術管理業務を通じ、次頁に掲げる重点的な取り組みを実践しております。

［完成施設の紹介］　あきた白神体験センター

外観写真

［建設場所］八峰町八森字御所の台地内
［竣　　工］　平成１９年５月
［計画概要］　鉄筋コンクリート造２階建　ほか　　延べ床面積　約２，６００㎡
［施設の特徴］
豊かな自然環境の中で、青少年が野外活動や集団宿泊活動など日常生活では体験できない様々な活動を通して、こどもの心を豊かにはぐくむための体験活動が行える「海浜型少年自然の家」が建築されました。
宿泊定員は１２０名で、全ての宿泊室から日本海を眺望することができます。

2　重点的な取り組み

県民共有の財産である県有建築物が、多くの県民が活用できると共に多様なニーズに対応した建築物であるために、次のような基本事項を踏まえた取り組みを実践しております。

① 県民に親しまれる建築物

・ 街並みや周辺環境と調和した建築計画。

② 利用者にやさしい建築物

・ 地域の気候風土を踏まえ、敷地と建築物の各機能に応じた適切なバリアフリーを推進。

③ 環境にやさしい建築物

・ 自然エネルギー（地中熱、雪冷房、太陽熱等）、雨水、地下水の利用。再生資材の活用。

④ 県産材を活用した建築物

・ 秋田杉に代表される県産木材を活用し、公共建築物の木造化、木質化を推進等。

⑤ 安全で安心して使える建築物

・ 構造上、防災上の安全性の他に、使用材料の安全性の確認。

⑥ 広報･広聴の充実

・ 美の国あきたネットを活用した発信情報の充実。

県産材活用の事例

（あきた白神体験センターは、外壁に秋田杉を採用し、内装の仕上げにも積極的に秋田杉や白神ならではのブナ材の合板を採用しています。）

あきた白神体験センター　体育館

第２節　営繕関係事業

1　平成２０年度営繕工事の概要と平成１９年度営繕工事の事務依頼実績

平成２０年度に、営繕課が知事部局及び教育庁から事務の依頼を受けて実施する予定の受託工事は延べ２１件、約３，９６０百万円の見込みです。

これは、前年度実績（新築･増改築の事務依頼ベース）に比べて件数で約６０％、工事費で約７６％になります。

	工事種別	機関名	平成20年度当初		平成19年度実績		対前年度比較	
			件数	工事費	件数	工事費	件数	工事費
			（件）	（千円）	（件）	（千円）	%	%
受託工事	新築・増改築	知事部局	11	974,897	24	2,449,417	46%	40%
		教育庁	10	2,985,374	11	2,744,882	91%	109%
		小　計	21	3,960,271	35	5,194,299	60%	76%
	維持修繕等	知事部局	※	※	57	1,018,433	-	-
		教育庁	※	※	51	1,031,235	-	-
		小　計	※	※	108	2,049,668	-	-
	受託工事総計		※	※	143	7,243,967	-	-
直営予算	維持修繕等	知事部局	※	※	54	210,022	-	-
	直営予算総計		※	※	54	210,022	-	-
営繕関連工事総計			21	3,960,271	197	7,453,989	-	-

（平成20年3月末現在）

2　平成２０年度主要工事の概要

平成２０年度に継続中又は発注予定の主な工事は次のとおりです。

	継続中の事業	発注予定の工事
1	由利高等学校整備事業 建 設 地：由利本荘市 構造規模：RC造4/0　約11,380㎡ 工　　期：H17 ～ H20	こども総合支援エリア療育機関整備事業・特殊学校推進事業 建 設 地：秋田市 構造規模：RC造2/0,他　約27,000㎡ 工　　期：H20 ～ H21
2	鷹巣技術専門校改築工事 建 設 地：北秋田市 構造規模：S造,木造2/0　約5,500㎡ 工　　期：H18 ～ H20	北秋田地区統合高校（仮称）整備事業 建 設 地：北秋田市 構造規模：RC造3/0　約17,000㎡ 工　　期：H20 ～ H22
3	矢島高校改築事業 建 設 地：由利本荘市 構造規模：RC造2/0　約5,342㎡ 工　　期：H19 ～ H21	湯沢地区統合高校（仮称）整備事業 建 設 地：湯沢市 構造規模：RC造4/0　約15,140㎡ 工　　期：H20 ～ H22

（平成20年3月末現在）

3　事業紹介

(1) こども総合支援エリア整備工事

外観パース

［建築場所］　秋田市上北手百崎字諏訪ノ沢地内

［竣工予定］　平成２２年３月

［計画概要］　鉄筋コンクリート造　2階建　ほか
延べ床面積　約　２７，０００㎡

［施設の特徴］
「秋田県こども総合支援エリア（仮称）基本構想案」に基づき、単に既存施設の補完や統合・整備にとどまらず、医療と教育の連携による総合支援の提供や自立・共生・社会との交流などを視野に入れた、これまでにない全く新しい環境を提供することを目指して計画されました。
バリアフリーを徹底し、全ての利用者が安心・安全に利用できるよう配慮し、利用者のこころの拠り所となるよう明るく楽しく清潔で、また、木材を中心に県材産を有効に活用し秋田らしさを表現するとともに、やさしさとぬくもりのあるデザイン計画としています。

(2) 北秋田地区統合高校（仮称）整備事業

外観パース

［建築場所］　北秋田市伊勢町地内

［竣工予定］　平成２３年３月

［計画概要］　鉄筋コンクリート造　3階建　ほか
延べ床面積計　約　１７，０００㎡

［施設の特徴］
北秋田地区４校の統合に伴い整備される校舎は、「歴史と伝統を引き継いだ学校」、「地域文化の中心となる夢のある学校」、「未来の農林業のスペシャリストを育てる学校」、「気候・風土を配慮した学校」を基本コンセプトに計画されました。
校舎はロの字形状とし、管理棟・教室棟・特別教室棟・講堂棟がつながり、その形はあたかも４つの学校が合体したバランスの良い四角を形成し、統合校を象徴した形状としています。
また、昇降口前のアプローチには、伊勢堂岱遺跡で見つかったストーンサークルをイメージし、大講堂のトップライト屋根は綴子大太鼓をイメージし、規則正しく配列された柱型をアクセントとすることでリズミカルなデザインとしています。